

R5年9月放送分
「自己紹介・東北防衛局について」
(日本の防衛Q & A)
(自衛隊百科)

R5.8.25 収録

【パーソナリティー】

本日は、7月14日付けで東北防衛局長に着任されました中野裕^{なかのひろ}

^{ふみ}文局長にお話しを伺います。中野局長^{なかの}、よろしく申し上げます。

【局長】

はい。よろしく申し上げます。

【パーソナリティー】

では、まず、中野局長のご経歴を伺いたいと思います。

【局長】

はい。私は、昭和63年に当時の防衛庁に入庁し36年目になりますが、その間、防衛省本省や防衛施設庁で様々な部署に勤務したほか、海上保安庁や警察庁に出向しました。

地方防衛局の勤務は今回が2回目で、これまでに近畿中部防衛局の前身の大阪防衛施設局勤務の経験があります。また、それ以外にも地方勤務としては、警察庁へ2回出向して北海道警察と福岡にある九州管区警察局で勤務しました。

【パーソナリティー】

今までの勤務の中で印象に残っているお仕事はありますか。

【局長】

そうですね、思い出というか記憶に残る出来事というのはそれぞれの部署でいろいろとありましたが、最近のものとしてあげるので

あれば東北防衛局に来る前は防衛監察本部というところで勤務しておりました。防衛監察では、例えば行政文書の管理が規則どおりに行われているか点検したり、組織としてのハラスメント対応に問題はないか確認するために職員にアンケート調査をしたり希望者と面談したりしました。私が面談した人の中には「こういう被害を受けているけれども、こんな話を誰に相談したら良いのか分からない。」という人がいたので、私からその人の上司に説明してその後の対応をお願いしたこともありました。

【パーソナリティー】

防衛省以外で勤務されていたというお話もありましたが、どのようなところで勤務されていたのでしょうか。

【局長】

平成26年に出向していた海上保安庁の海洋情報部では、航海の安全に必要な海図や水路誌を作成しており、その内容を常に最新の情報で更新しています。また、海底火山の噴火や漂流物などの緊急を要する情報については、衛星通信やインターネットでリアルタイムにお知らせしています。そして、港湾の測量や国際条約に基づくわが国の領海を決定するための調査のほか、海流や潮流などの観等を行っています。

それから、令和元年に出向していた警察庁の九州管区警察局では広域調整部長として、各県警の枠を超えて連携して対応することが必要な大規模災害や誘拐事件などの発生に備えた訓練や指導・調整を行っています。

【パーソナリティー】

いろいろな組織や業務があるんですね。

この番組をお聞きの皆様は、ある程度、東北防衛局についてご存じかと思いますが、改めて、^{なかの}中野局長から東北防衛局の業務についてご紹介いただけますでしょうか。

【局長】

はい。東北防衛局は、全国に8つある地方防衛局の一つでありまして、東北地方6県を担当しております。

地方防衛局は、平成19年に、防衛行政全般の地方における拠点として新編されました。

東北防衛局の組織としては、局長の下に、総務部、企画部、調達部の3部と三沢防衛事務所及び郡山防衛事務所の2つの事務所が置かれ、定員は自衛官13名を含め221人となっています。

主な業務としては、まず第一に、人員、装備とともに、防衛力の基盤を成し、わが国の防衛上欠くことのできない防衛施設、この安定的使用を確保するために、防衛施設の取得、管理、建設工事を行うほか、漁業などを制限する場合には必要な補償を行っています。

また、飛行場や演習場などの防衛施設では、周辺地域に様々な影響を及ぼす場合があります。例えば、飛行場周辺では戦闘機等の航空機の離発着に伴って騒音が発生しますし、演習場では訓練の際に砲撃音の騒音が発生したりするほか、戦車などの大型車両の走行によっては演習場内の土地が荒れて、周辺地域へも影響がある場合があります。このような、防衛施設から生じる生活環境への影響を防止し、緩和するための施策として、学校、病院、住宅などに対し、防音工事を実施していますし、河川や道路の改修工事を実施するなどの基地周辺対策事業を行っています。

【パーソナリティー】

様々な問題が発生した場合には、その対策を行っているということなのですね。

【局長】

はい、そうです。基地周辺対策は、関係自治体に対する補助金、交付金という形で実施しており、関係自治体にご協力いただきながら進めています。そのような面からも、関係自治体の方々との連携は欠くことができないものです。

そのほか、地方防衛局として、地域における政策的な情報の発信ですとか、自衛隊の装備品の調達に関する業務も担当しています。

さらには、沖縄の基地負担軽減のための施策として、在沖米海兵隊の実弾射撃訓練の宮城県おうじょうじはら王城寺原演習場への移転措置に対する支援についても重要な業務として実施しています。

【パーソナリティー】

詳しく教えていただき、ありがとうございます。やはりとても幅広い業務をなさっているんですね。

最後に、東北防衛局長としての抱負をお聞かせください。

【局長】

私自身は、東北地方での勤務は初めてですが、自治体の皆さんや地域住民の皆さんのご意見に耳を傾け、色々なことについて、よく見聞きし、より良い、丁寧な仕事をしていきたいと考えておりますので、どうぞ引き続き、東北防衛局をよろしく願いたいします。

【パーソナリティー】

本日は、7月14日で新たに着任されたなかの中野局長にお話をお聞きしました。ありがとうございました。

【局長】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。